

[JPA2022-050] アピアランス〈問題〉への心理社会的支援のための研修会
(2/18)

If you are unable to see this message, click the URL below.
<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2023/01/JPA2022-050.pdf>

公益社団法人日本心理学会 会員 各位

◆-----◆
「アピアランス〈問題〉への心理社会的支援のための研修会（2022年度）」
（2023年2月18日(土)開催／1月20日(金)正午申込受付開始）
<https://psych-ws20230218.peatix.com>
◆-----◆

このたび日本心理学会研修委員会の企画で、2023年2月18日(土)に
「アピアランス〈問題〉への心理社会的支援のための研修会（2022年度）」を
開催します。

「対面」または「オンライン」のいずれかの方法で参加することができます。
申込受付の開始は、1月20日(金)正午です。

参加ご希望の方は、下記申し込みサイトの内容をご確認の上、所定の期間内
にお申し込みください。

アピアランス〈問題〉への心理社会的支援のための研修会（2022年度）
<https://psych-ws20230218.peatix.com>

■日時
2023年2月18日(土)10:00-17:10（11:45-13:00 昼休み）

■開催形式・定員
・対面：定員25名（会場：日本心理学会事務局 -東京都文京区）
・オンライン：定員45名（Zoom ミーティング）

■参加費
8,000円（対面・オンラインいずれも同額）

■お申し込み
<https://psych-ws20230218.peatix.com>
※申込期間＝1月20日(金)正午から2月11日(土)23:55まで

■概要
アピアランス（外見）に関連した〈問題〉は文化的圧力と密接に関連している
ため、日常生活の至るところに存在する。可視的差異を有する人もそうでない人
もアピアランスに関する苦悩を抱え、全人口のおおよそ100人に1人が問題を

かかえている。

医療現場のさまざまな部署（先天性疾患・後天性慢性疾患・外傷や熱傷・がん領域・精神科等）では、アピアランスに苦悩を抱える患者が少なくなく、現場のスタッフだけでは対応しきれしていない現状がある。現在、EU やイギリスでは、包括的ケアシステムで対処しようとする試みが進められている。

本研修では、可視的差異を有する人に対して適切な心理社会的支援を行うことができる人材育成、チーム医療の一員として医療スタッフにコンサルテーションができる人材育成を目指し、アピアランスに関する〈問題〉を概観した上で、対象者への理解や支援について講義と実習を行う。

■対象者

看護師，公認心理師・臨床心理士，言語聴覚士，認定心理士他，病院臨床場面やカウンセリング場面でアピアランスに〈問題〉を抱えた人への支援を行ってきた人，もしくはアピアランスに〈問題〉を抱えた人への支援に関心のある人。

■主催

公益社団法人日本心理学会

■企画

日本心理学会研修委員会

真覚 健（委員長，宮城大学）・松本 学（共愛学園前橋国際大学）

■講師

原田 輝一（医療法人生登会）

鈴木 公啓（東京未来大学）

松本 学（共愛学園前橋国際大学）

野澤 桂子（目白大学）

真覚 健（宮城大学）

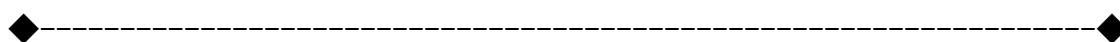
矢澤 美香子（武蔵野大学）

山宮 裕子（テンプル大学ジャパン）

平泉 拓（宮城大学）

■当日のスケジュール等の詳細は，申し込みサイトをご覧ください。

<https://psych-ws20230218.peatix.com>



■新型コロナウイルス（COVID-19）に関する特設ページ

<https://psych.or.jp/special/covid19/>

■Japanese Psychological Research 特集号 公募

・”Studies of Face and Body”（論文概要送付締切 2023/5/31）

